

# 令和2年度第1回恵那市総合計画審議会会議録

日時：令和2年6月22日（月）

午後1時30分～午後2時35分

場所：恵那市共同福祉会館 集会室

---

- 1 開会
- 2 委員の委嘱
- 3 副会長の選出
- 4 会長あいさつ
- 5 本部長あいさつ
- 6 議事
  - (1) 第2次恵那市総合計画後期基本計画（案）について
  - (2) 第2期恵那市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略（案）について
- 7 今後のスケジュール
  - (1) パブリックコメント（予定）
  - (2) 次回審議会（予定）
- 8 その他
- 9 閉会
- 10 会議の公開・非公開・・・公開

11 出席者の数・・・19人中19人（以下のとおり）

	氏名	選出団体等	備考	出欠
1	足立 健二	えなの森林づくり推進委員会		出席
2	岩井 慶次	恵那市防災研究会		出席
3	遠藤 茂樹	恵那市民生委員児童委員協議会		出席
4	勝 滋幸	恵那市農業振興協議会		出席
5	鎌田 基予子	恵那市教育委員会		出席
6	柘植 久雄	恵那市こども園保育園保護者会連合会		出席
7	小林 規男	社会福祉法人恵那市社会福祉協議会		出席
8	平林 道博	恵那市地域自治区会長会議		出席
9	西部 良治	公益財団法人恵那市文化振興会		出席
10	服部 敦	中部大学	会長	出席
11	水野 良則	恵那市恵南商工会		出席
12	岡本 光美	恵那市地域自治区会長会議		出席
13	田中 正	恵那市PTA連合会		出席
14	村上 誠治	公募		出席
15	山内 達雄	恵那市地域自治区会長会議	副会長	出席
16	山口 鉦一	公益財団法人恵那市体育連盟		出席
17	山本 好作	恵那商工会議所		出席
18	渡辺 康正	明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会		出席
19	小川 智明	一般社団法人恵那市観光協会		出席

12 傍聴者の数・・・4人

## 1 開会

■事務局（進行） 定刻となったので審議会を開会する。私は進行を務める企画課長の和田です。本日、コロナウイルス対策として体温測定、マスクの着用に御協力いただきありがとうございます。座席はソーシャルディスタンスに配慮して変則的となっているのでご了承ください。会議時間は1時間を想定し2時半終了予定である。

本日の審議会は委員19名のうち19名出席なので、恵那市総合計画審議会規則第4条の規定により会議が成立している。会議の公開及び公表については、恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱により、原則公開とし、会議録を公表する。

これより次第に沿って進める。

委員には出席いただきありがとうございます。今年3月に書面会議をしたところ、コロナウイルスの影響で対面によるこうした会議は昨年12月以来約6カ月ぶりとなる。

## 2 委員の委嘱

■事務局（進行） 年度をまたいだことにより6名の委員の交代があった。本来は委員一人一人に委嘱書を渡すべきだが時間の関係で机上配布している。名簿の備考欄に新規と記載してある、新たに交代した委員を紹介する。名前を読み上げるので自席で起立いただきたい。柘植久雄様、平林道博様、水野良則様、岡本光美様、田中正様、小川智明様。よろしくお願ひします。

## 3 副会長の選出

■事務局（進行） 副会長の丸山様が代わられたので新たに選出が必要となった。恵那市総合計画審議会規則第3条の規定により、副会長は委員の互選によるとある。副会長の選出をお願いしたい。意見はあるか。

[ 「事務局一任」の声あり ]

■事務局（進行） 事務局一任との声をいただいた。副会長職に地域自治区会長会議選出の山内達雄様を推薦したい。よろしいか。

[ 「異議なし」の声あり ]

■事務局（進行） 皆様からの承認をいただいたので、山内様は副会長席に移動してください。

## 4 会長あいさつ

■事務局（進行） 会長からあいさつをいただく。

■会長 6 カ月ぶりの審議会だ。まずはこの会議が開催できる状態になってほっとしている。これを計画とし、恵那市総合計画がしっかりと策定されて実行段階に移っていくように祈念している。

コロナ対策にいろいろ配慮されている。世間ではアフターコロナ、ポストコロナと言われていて、今の段階では正体が分からない病気なので、この後社会がどう変わっていくかまだ十分に分かってない。当然、市政、総合計画も影響を受ける。近々策定するというところで、ポストコロナの影響はまだしっかり書ききれないところがあると思う。今後その影響がだんだん見えてくる中で、次の5年間の中でポストコロナに対応した恵那市をどう作っていくのかをしっかりと考えていかなければいけない。

ポストコロナということで、東京や大都市では、大都市の中心部で仕事をする必要がもうない、テレワークということが普及できて、都心に集まって仕事をする必要がない、もっと自然豊かなところでゆったりと生活しながら、必要なときだけ都会に出かけていけばいいということで、郊外や地方に移住しそこで仕事をするという考え方がこれから大きく普及していく可能性があると思う。これを好機と言うのははばかれるが、少なくとも大きな転機として、恵那市、東濃地域に人をしっかりと呼び込んで、コロナ後の社会を作っていけるような土台作りをこれからしていければと思う。そのきっかけとなるような総合計画が策定できればと思う。皆様の御協力をお願いしたい。

## 5 本部長あいさつ

■事務局（進行） 本部長からあいさつする。

■まちづくり本部長 今日はありがとうございます。前回12月に開催して以降、コロナウイルスの影響で3月の審議会は書面によるものだった。大まかめの段階なのでよろしく御願います。6名に入っていただき、そんな中でまとめというのは大変だと思うがよろしく願います。

コロナ感染症が出てから市ではかなり大きく様子が変わった。働き方、自宅でのデスクワークがどうやったらできるかということ、あるいは職員が密にならないようにすることで半分以上はリモートワーク、あるいは教育の面では、コロナウイルスが発生してすぐ5月の、市民からアンケートをとったが、その当時はまだマスクが買えない、2番目は外出ができない、3番目には教育が心配、4番目には収入が減るんじゃないかという心配をされた。市がしっかりと考えなければいけないのは、教育の面では、第2波、第3波が出たとき

にどうしたら教育を継続できるかというところが大きな転換点だと思う。先ほど会長からコロナウイルス以降は社会が変わるということを書いていただいた。このことは恵那市にとって非常に、転換点で著しいことではあるが、よりメリットのある転換の仕方を恵那市としては考えていくべきだと思っている。ぜひ総合計画で、今回は書ききれないかもしれないが、次回以降の審議会の中でぜひ提案していただき、変更していただければと思う。目標値が、たとえば観光では大きな値を立てているが、もう大変な状況だ。この辺をどう考えていくか。今回、変更はできないが次回以降大きく変更していただければと思っている。いろいろなところに目標値があるので、社会情勢に合わせて変更していただければと思う。

今日の審議会も、7月1日からパブリックコメントで市民から意見を聞く段階になっている。また8月4日に審議会を開催する予定で、これを最後のまとめとして市長に提言させていただいたと思うので、今日の会議が実のあるものになるように願います。

## 6 議事

(1) 第2次恵那市総合計画後期基本計画(案)について

(2) 第2期恵那市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(案)について

■事務局(進行) 議事に入る。進行は会長に願います。

■会長 議事は2つある。説明は一括して事務局から行う。

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■会長 主に人口についての考え方、あと2つの計画、戦略について、構成の考え方の説明があった。計画の本体自体は(案)と書かれているもの。今の説明の枠組みの話と、計画の改定の中身について、一括で質問、意見をいただきたい。

■村上委員 コロナで明らかになったことで、一つは、人口密集度が高いところはコロナの発生率が高い。恵那は人口密集しようがないところだと昔から思っていて、銀行でも並ばなくてもいいし市役所でも並ばなくてもいい。もう一つは、働き方改革で、在宅で仕事をする人が増えてきた。まだ十分ではないが。そういうことを考えると、今までの審議会でも議論ができなかったことだと思うが、住むことと働くことを必ずしも一致させなくても、恵那市に住んで仕事は仕方ないから中津川や岐阜、名古屋まで行く。でも住むのは恵那市だと。恵那市に住んでいれば3密がないと。家族はみんな安全。働きに行く人だけはしょうがないという観点で組み直す必要もあると思う。今までは働くところがないから恵那に来てもらえないという考え方だった。そうではなくとりあえず恵那に住んでもらう。生活

は恵那がいい。働く場所は恵那でなくてもいい。そう考えると、交通のことも議論してきたが、中央線でいうと、恵那と武並にどうやって通勤の人を運ぶかという、そういう路線が要るのかもしれない、という観点で見直す必要があると感じた。

■岡本委員 今の発言の追加で。なぜみんなが中津川に行くか。中津川の方が何か魅力があるから向こうの方に移住するのかもしれない。恵那市として、住民税でも 100 円でもいくらかでも安ければこちらに住むかもしれない。やはりニンジンか何かを吊るさないとみんな流れてしまう。若い人たちが向こうに行くのを引き留める施策。そういうところも考えてほしい。こちらに戻ってきていただく魅力をいただきたい。

■渡辺委員 いろいろ指標を含めて提示いただいた。28 ページ 24、基本構想の体系見直し。目標人口とあるが、将来像の中に、「人・地域・自然が輝く交流都市……」とある。目標人口を主体的に考えて、その下の円の集合グラフのようなものの中心が、人口の維持、増ということだと思う。したがって、中心をしっかり明記すること。これが人口増、維持であるということを理解しておかないと、周辺の、たとえば安心だとか快適、活力だというぼわっとしたものがあるが、中心は人口の維持、増というところを明記することがこのペーパーの中では大切だと思う。

個別の資料をいただいた。外来語のようで分かりづらい表現があった。パブリックコメントを出したときに皆さんが理解できるのかというところがあった。たとえば、第 2 期恵那市まち・人・しごと創生人口ビジョン総合戦略というテーマがあるが、84 ページ、「健康な体を維持できる」の中で、重要業績評価指標の 2 つ目、バイスタンダー CPR 実施率という、専門家でないとならない表現がある。こういうわけの分からない理解しづらい表現は、やはり理解できる形にしていきたい。91 ページの、「まちの担い手が育ち、つながる」の中の主な施策・事業の 2 つ目、「サードプレイスの創出」、これを聞いて皆さん分かるか？ こういうのも分かりやすい表現に変えていただきたい。

体系の見直しの中で、人口についての表現がこの円の中心であることを明記することが必要だ。

■鎌田委員 恵那市教育委員会から出ている鎌田です。まちの担い手という視点のところ意見述べる。恵那市は東濃 5 市の中でも地元の教員が 5 割を切るという危機的状況にある。まちの担い手が地元の出身の先生が、仕事がまちの担い手と直結すると思う。恵那市出身の人が地元で根付いて、恵那の子どもたちもまちづくりとともに一緒に育てていただけるような、そこに投資するという事は必ず、じわじわと、すぐには数字では表れないかもしれないが。

■会長 教育の担い手のところに、教員の担い手が非常に重要だ、まちづくりの担い手としても重視していただきたいという御意見だと思う。

■岡本委員 要は、先生は文系の先生を呼ぶ。たとえば、東野では、若い先生は文系で、

理系の先生はほとんど教頭先生ぐらいしかみえない。上矢作の方に出前講座に行ってもそうだ。定年間近の先生だ。若い先生が、文系の先生が理系を好きになるような雰囲気にもっていかないと、今発言されたような、小さい子が頑張れるような雰囲気になれない。先生をどうしても初任地でこちらの方に送っていると思う。それも受け入れる必要があると思う。その先生方を理系が好きになるような学校にしていくのも一つかと思う。

■会長 このあたりで、事務局からコメントを。

■事務局 村上委員からのコロナで明らかになったこと。去年から議論していただき、コロナというのはこの2カ月でまったくガラッと考え方が変わってしまったところがあると思うが、在宅、テレワークといったことは、もともと、コロナ以前からの議論で出されていたので、今まで議論してきたことをガラッと変えられないので、順次見直しを行いながら変えていきたい。

岡本委員の、なぜ中津川市に流れていくのかということについては、これまで私たちが検討を重ねる中でそういったことは考えていた。他市よりも魅力のある市になれば人口が入ってくる。たとえば住宅施策一つとっても、中津川市には住むところがいっぱいあるので、もしくは住みやすい住宅がすぐできるということがあって、これは現総合計画の中でも住宅地の開発奨励金や、水道の分担金の見直しにも取り組んできた。他市より魅力ある施策は常に必要だと思っている。すぐには答えが出ないかもしれないが、十分検討していくことが必要だと思っている。

渡辺委員の図のことについて。3つの中心が人口減少対策だという指摘。表現の仕方を工夫したい。今すぐ答えが見つからないが。確かに外来語など難しい言葉があるので、できるだけ分かりやすい言葉に変える、もしくは、変えるのが難しければ注釈で表現したい。

鎌田委員のまちの担い手については、先生という職を、要は教育をしっかりすれば、すぐには効果が出ないが、しっかりした地に根付いた教育ができれば恵那市を好きになっていただくことができる、そういったことが定着に結び付くという意見だと認識した。鎌田委員の意思もこの計画に盛り込めればと思っている。

■会長 ほかに。

■岩井委員 14 ページの転出の理由。職業上で20代が特に多い。これは薄々分かっていることだが、業種も分からないので、ザクっとした話だが、今回はコロナ禍で、リモート化が標準化されてきたので、リモート化できる人は在宅で仕事ができる。27 ページで、新しい施策で、リニア新幹線を活かすというのがある。リニア新幹線で名古屋・東京を結ぶので、テレワークができれば、東京にいなくても恵那で十分仕事ができる。コロナ禍の中でどういう仕組みづくりができるかがポイントだ。

■会長 事務局。

■事務局 意見として承る。

■会長 私から意見を申し上げます。資料 2、目標について何点か指摘する。基準値と目標値があまり変わっていないものがいくつかある。これで大丈夫かと思う。たとえば、[11]-1、[21]-2。[11]-1 は、買い物の不便さ。これ以上不便にさせないという意味だと思うが、これでいいかな。施策の中身は、特に買い物不便地に対してもう少し施策を打っていくという話なので、全体的な不便さの指標と中身がちょっとずれているので少し検討いただいた方がいい。[21]-2、市民活動団体も 70%と、変わっていない。数値が変わっていないところを精査して、これでいいか見てほしい。[4]-1 も、数値は若干上がっているが、61%が 62%になっているが、アンケートで、普通、良い、やや良い、の相対を表すのを指標にしている。あまり「普通」というのをに入れて指標にすることはない。微増だと、良いとやや良いが減って普通が伸びる。悪くなっても良くなって見えるという指標はさすがに問題かもしれない。著しく良くないところ、全然伸びてないところを全体に精査してほしい。

ほかに意見は。

■岡本委員 本日いただいた修正の中で、ごみの数値を変更してほしいというのがあった。これはグラムが単位だ。ごみはキロ、トンで出てくる。グラム以下は意味がない。せめて単位はキロで出してほしい。グラムで出してそれでごみがどれだけ減少するか、水分どれぐらいが許されるかとか、ごみをそこへ入れてからどのぐらいの時間が経ったときに測定しているとか、そういう根拠があって出しているのか。ほかの方ではごみをトンで書いてある。一方でグラムでは、同じ土俵では議論しづらいと思う。

■会長 ほかに。

■鎌田委員 今日ここで提案いただいたものを承認するという段階なのか。

■事務局 パブリックコメントを出すのでその最後の会だ。

■鎌田委員 これで一旦公表してパブリックコメントを求めるということで。

新たな基本施策という項目が、一人一人が主語になるもの、頑張ることと、まちがこうなってほしいというのが混ざっている。このあたりはこの表現でいくのか。先生にもお聞きしたい。

■会長 どんな形でもいい。これまでの計画だと、行政がやることと、市民から見てこうあってほしいということが混ざっていた。今回は、市民から見てこうあってほしいという書き方に統一されていると思う。考え方が少し整理されていると思う。

■岩井委員 テレワークのことで、恵那市は工業団地の誘致に今まで力を入れていた。それは働く人の人口を増やすのにととてもよかった。今後は、東京等の首都機能移転も考える必要があるのではないか。私は工業団地から I T 団地づくりをしなければいけないと思っている。

■事務局 岡本委員からの質問で、グラム、トンという分かりづらい表現だということ。



担当課で、どの単位が一番いいか考える。

■岡本委員 測定方法をしっかりとすること。

■会長 ありがとうございます。

これで決まりというわけではなく、この案が市民に公表されこの後パブリックコメントという意見を皆さんからいただく。それでさらに必要な見直しをした上で最終案を8月4日に審議する。もし皆様方からも気になる点があればパブリックコメントの一部という形でもいいので意見をいただき、最終案に結び付けてほしい。

コロナに関する意見が今日は多かった。コロナの影響は今回策定するまでに全部検証し入れ込むのはなかなか難しい。1年ぐらい様子を見ながら、社会への影響もしっかり見ながら、この後の状況に応じていろいろな意見も出てくるいろいろな分かってくることもある。そういう意味で、コロナのことを総括して政策に反映するにはもう少し時間が必要かと思う。8月の段階では十分に反映しきれないが、その後のフォローアップ、見直しの中でしっかりとコロナに関して見識を深めて政策の充実を図ってほしいということになると思う。今回の計画では限界はあるが、この先に向けて、こんなことはぜひ市としてはフォローして検討して次につなげてほしいという御意見であれば、積極的に、次回でもいただければと思う。

事務局にお返しする。

■事務局（進行） 議事は終了した。熱心な議論をいただきありがとうございました。

## 7 今後のスケジュール

(1) パブリックコメント（予定）

(2) 次回審議会（予定）

■事務局（進行） 今後のスケジュールについて。

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■事務局（進行） 質問はあるか。

## 8 その他

■事務局（進行） 8のその他については特になし。本日の予定の議事はすべて終了した。山内副会長から閉会のあいさつをいただく。

## 9 閉会

■副会長 今日には時間のない中審議していただいた。恵那市の令和7年までの長期計画のほぼ大詰めにきている。あとはパブリックコメントと答申になる。熱心に論議いただきありがとうございました。これで審議会を終了する。

[ 閉 会 ]